



あとむ

姫路科学館友の会会報 第 166 号(2020 年 5 月)(友の会事務局発行)

新しい年度がはじまりました

科学館の周辺は 3 月末にヤマザクラが咲き始めました。事務所の裏には、サンシュユが(写真)黄色の花をつけました。自然は去年と変わりなく、暖かな春を運んできました。しかし、世界中で新型コロナウイルスが流行り、多くの人を苦しめている春でもあります。科学館も 3 月 5 日から臨時休館となり、さみしい春を迎えました。



さて、2020 年度が始まりました。例年と同じように友の会の行事を計画しております。「研修旅行」は 12 月に、2 月に実施予定の「鴨を見に行こう会」もあります。

計画したことが実行できることを祈るばかりです。本年度もよろしくお願いいたします。

科学館は、2020 年 3 月 5 日(木)より新型コロナウイルス感染予防のため臨時休館しています。つきましては、2020 年度の会員の皆様におきましては、会員期間の延長等の対応を考えておりません。再開した際にお知らせしますので、しばらくお待ちください。

また科学館の再開情報や友の会に関する[お知らせはHP](#)でしますので、そちらをご覧ください。なお、科学館が再開するまで、会員の募集は一時中止しています。どうぞご了承ください。

(友の会会長 上田倫範)

館長の科学館だより

新型コロナウイルス感染症対策として、3 月 5 日より臨時休館をさせていただき、皆様方にはご心配とご不便をおかけして申し訳ございません。現在のところ 5 月 10 日まで休館とさせていただいておりますが、開館につきましては姫路科学館ホームページなどでお知らせいたしますので、今しばらくお待ちいただけますようお願いいたします。

今年も姫路科学館の周辺は桜山の名の通りサクラの美しい花で彩られました。皆様方に見ただけなく申し訳ありませんでしたが、来年もきっと美しく咲き誇ってくれることと思います。館長室の前にありますアセビの花にもさまざまな生き物が訪れてくれました。その一つが写真にあります“トラフシジミ”です。翅を広げた大きさは 16~21 mm で翅の裏面の白色と灰色のしま模様が特徴的で、尾状突起と呼ばれるしっぽのようなものが後ろの翅についており、北海道から九州まで広く生息しています。夏に羽化するものは、白色の部分がグレーがかり全体的に色合いが暗くなります。翅の表は青紫色に美しく輝きます。日差しを受けてキラキラと輝く様子は、写真ではお届けできないのですが、姫路科学館ホームページの館長のブログにこの写真の場面を動